

(2) 類似都市圏における事例の検証

1) 人口

静岡県は、県西部及び県東部の新幹線停車駅を有する都市、及び静岡市の隣接地域で人口が増加しており、山口県では、山口市と下松市のみ人口増加が見られる。

新幹線沿線地域において、新幹線停車駅のある都市及びその周辺では人口が増加しているが、停車駅のない都市や新幹線沿線から離れた都市では減少していることがわかる。

一方、新幹線が未整備である九州北西部では、福岡市周辺や佐賀市の隣接地域、長崎市の隣接地域で人口が増加している。

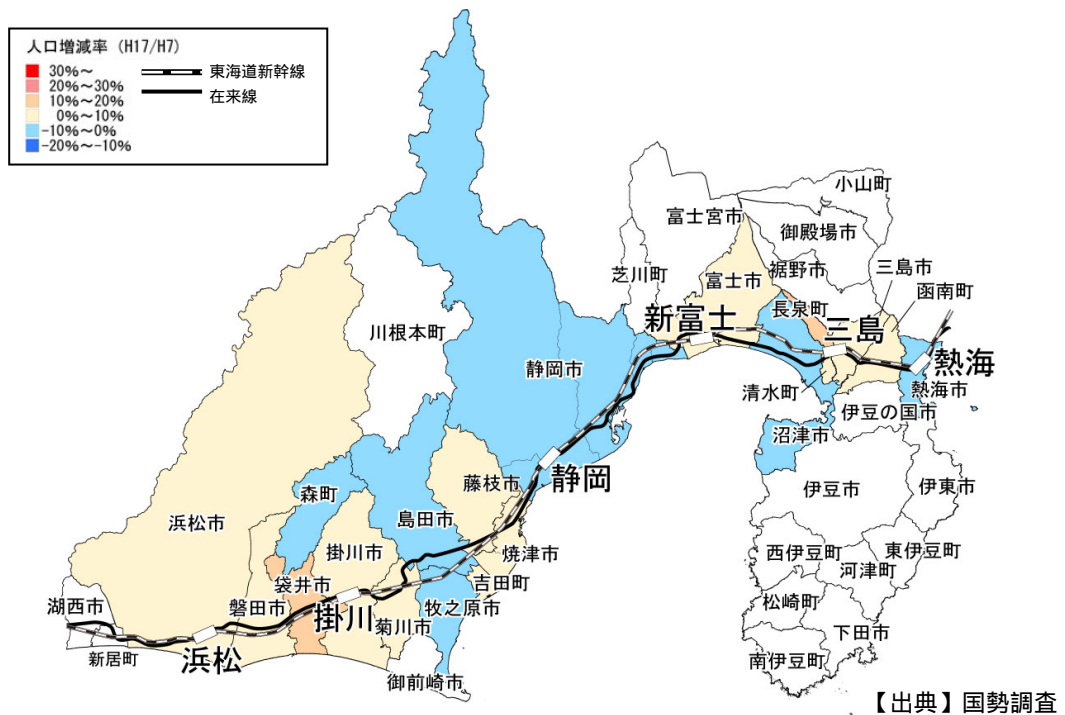


図 5-280 人口増減率（静岡県）

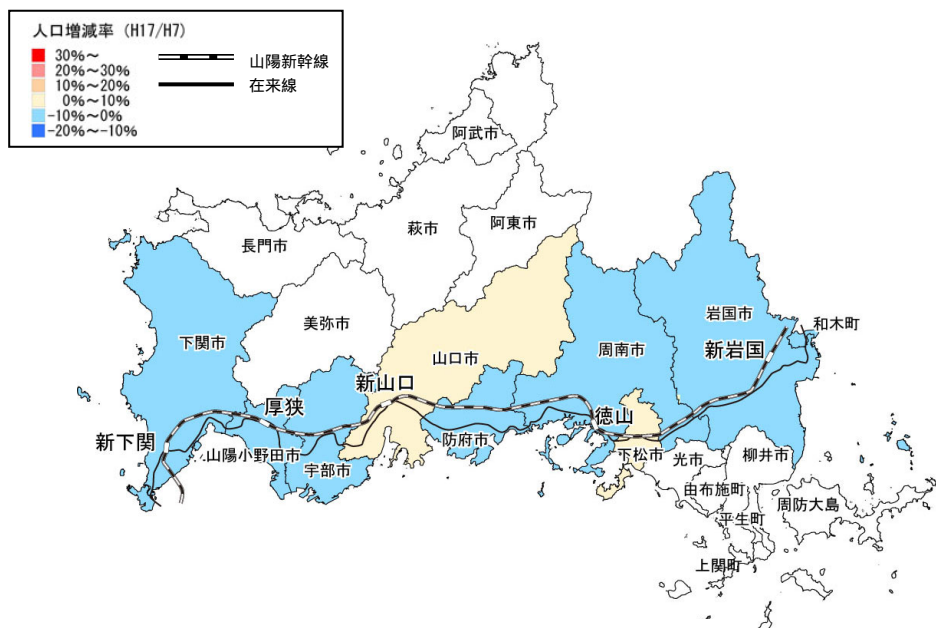


図 5-281 人口増減率（山口県）

【出典】国勢調査

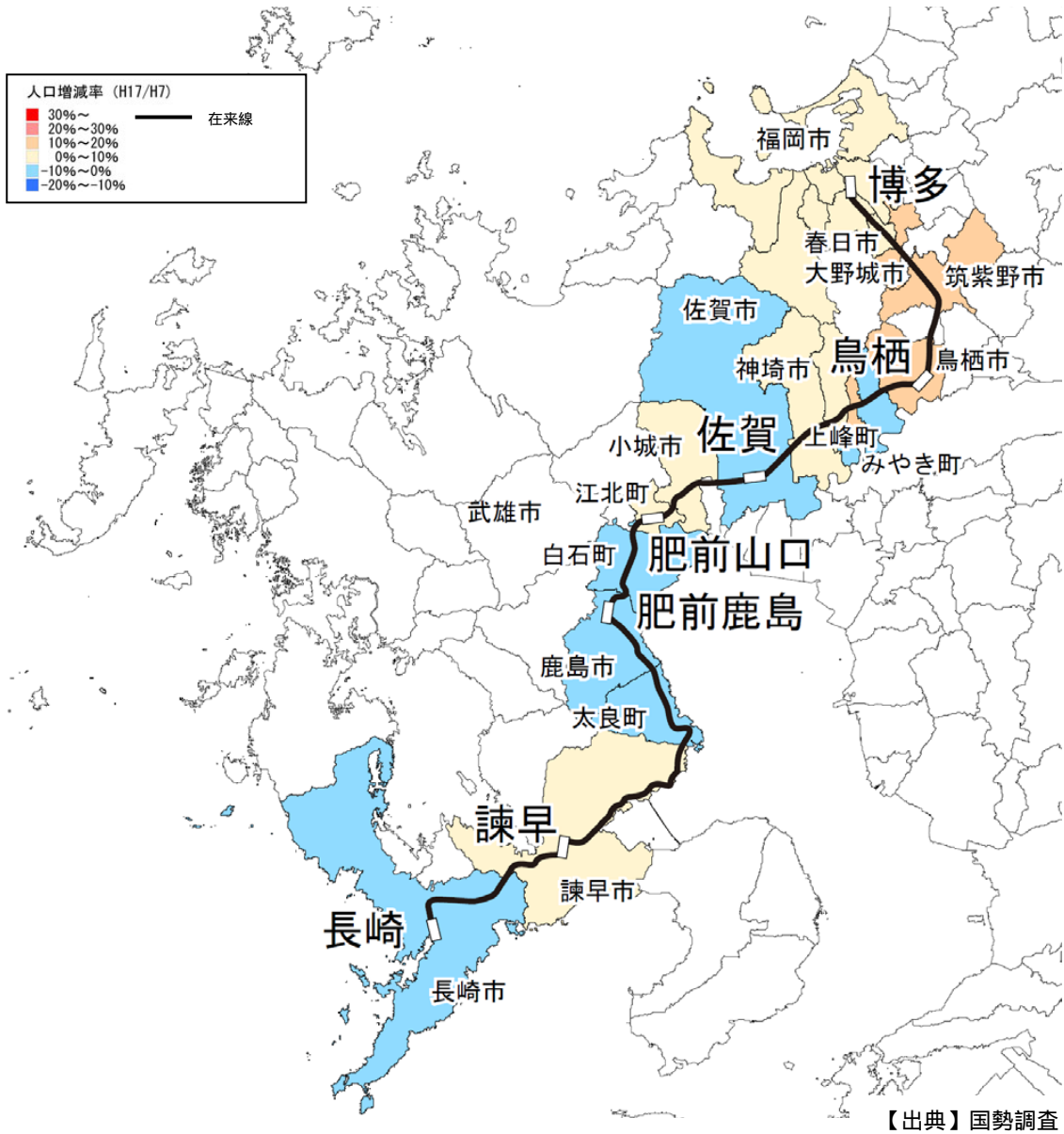


図 5-282 人口増減率 (九州北西部)

## 2) 通勤圏

静岡県は、静岡市と浜松市への流入が多く、山口県は、山口市と周南市、岩国市への流入が多いなど、通勤は新幹線及び基幹鉄道に沿った流動が見られ、主要都市を中心とした通勤圏が形成されている。

一方、九州北西部では、基幹鉄道の沿線都市に限らず周辺年から福岡市への一極集中的な流入がみられる。

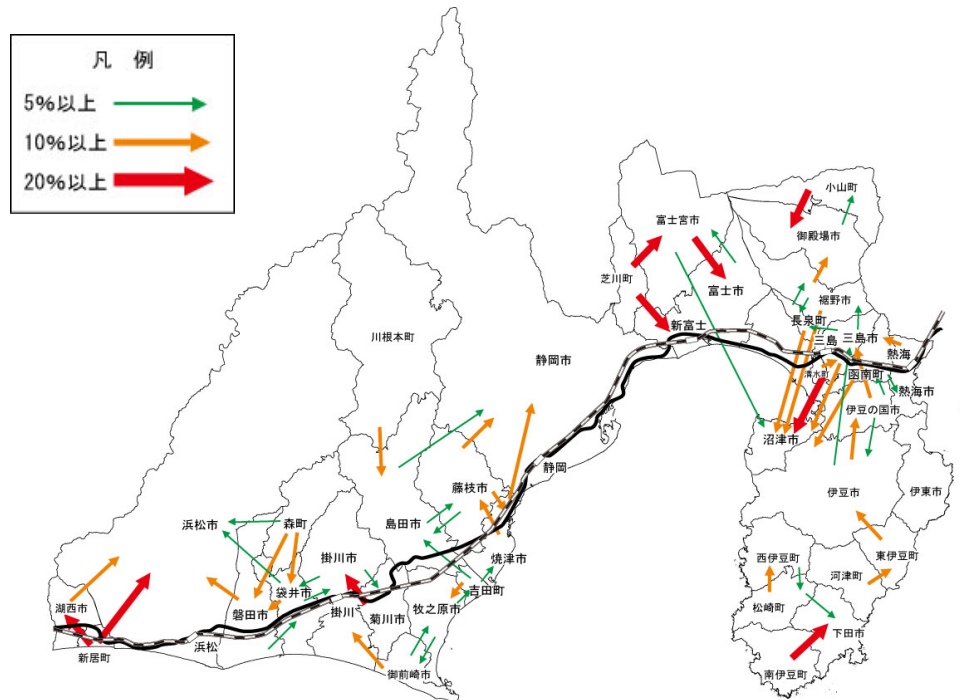
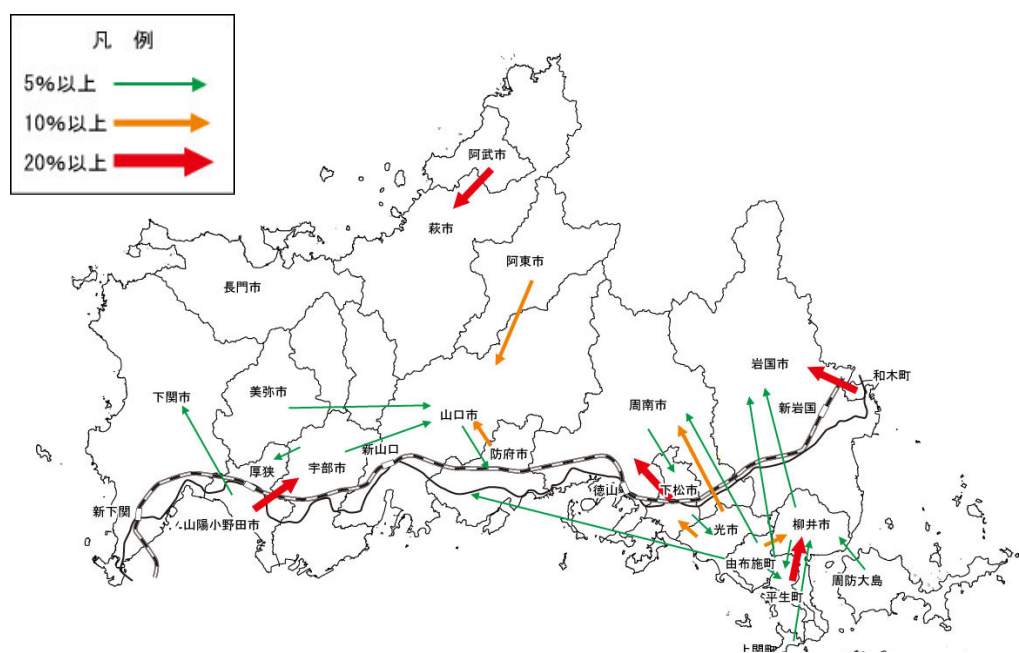


図 5-283 通勤流動（静岡県）【出典】国勢調査（平成 17 年）



【出典】国勢調査（平成 17 年）

図 5-284 通勤流動（山口県）

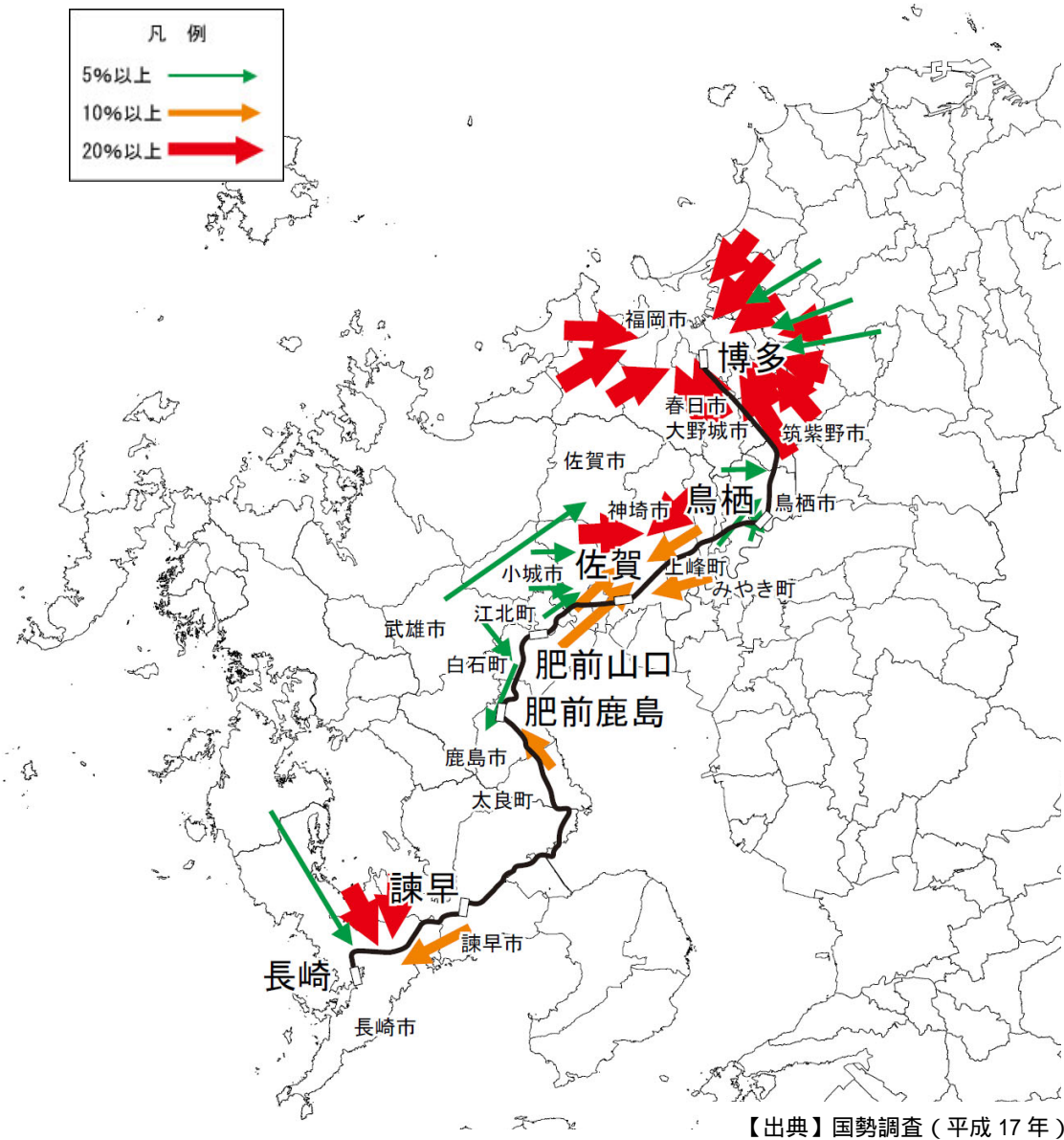


図 5-285 通勤流動（九州北西部）